



下村 一郎 議員

資格のある職員で建物管理を

質問

専門の資格を持つ職員の活用について質問する。

文教福祉委員会が東京の葛飾区の視察に行った。

葛飾区の教育委員会には、70数校の校舎を管理する施設課があり、2人の1級建築士を含めた専門技術を持った職員がすべての建物の管理を行っているっており、簡易的な工事の設計、校舎建設や改修の監督も行った。

愛西市には各種の資格を持った職員が在籍している。そこで、施設管理に絞って聞くが、市が管理する建物が、

総数でどれくらいあるか。これらの改修や修理にかかる年間予算は。

総務部長

施設の数に128施設。修理関係予算は、本年度約6.2億円。

質問

施設もたくさんあるし、予算も多額だ。

現在、管理・工事発注のすべてを各課が行っている。

素人なので不安を持ちながらの仕事だと聞いた。

市には建築士や電気工事士

など、建物の管理の資格を持った職員がいる。その職員の活用を。たとえば、施設管理課を設置し、プロ集団が全施設を管理してはどうか。

総務部長

職員の中に資格を持った職員で一括管理をすれば、経費的なものとか、いろいろな相談事などにも素早く対応できるような、良い提案だ。

質問

コンピューター関連予算は22年度が4億と多額。今後増えると思う。

コンピューターに詳しい職員の配置も重要だが。

副市長

電算関係についても考えていきたい。

「野焼き」禁止対策を

質問

野焼きについて尋ねる。私たちは、市民アンケートを実施している。一番件数で多かったのが野焼きの禁止を求める声だった。市への野焼きの苦情は。

質問

市の野焼き禁止の理由は。

市民生活部長

ドラム缶などでごみを燃やすと悪臭やダイオキシン類の発生の原因になるため。

質問

目立つ広報や、衛生委員などの協力も得て、野焼きパトロールなどの実施を。

消防長

消防署への通報は平成20年度、21年度とも各96件。

市民生活部長

提案は検討したい。

